

# マルセン



## 平成27年度 マルセン12号

発行日/平成28年3月  
発行所/公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
所在地/〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号  
電話/(086)800-0077 ファックス/(086)800-0055  
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)



公益財団法人  
マルセンスポーツ・文化振興財団



# CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
平成 27 年度財団の事業報告	7

## I 公益事業

### 第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	7

### 第2章 表彰事業関係

1 マルセン大賞	9
2 マルセン賞	9

贈呈式	11
-----	----

#### 受賞者からのひとこと

1 マルセン文化大賞	隠崎 隆一	12
2 マルセンスポーツ賞	荒島 夕理	13
	井上 全悠	14
	原田 裕成	15
	日本 雄也	16
	丸本 大翔	17
3 マルセン文化賞	粟利郷太刀躰保存会 岡山県重要無形民俗文化財	18
	小野 耕石	19
	河本 昭政	20
	藤本 理恵子	21
	森上 光月	22
	守屋 剛志	23

ホットコーナー	誇るべき和歌山国体 11 位	24
	誕生から 30 年新しい連携や展開に期待膨らむ	26

### 第3章 イベントの開催

1 スポーツ	28
2 文 化	28

第4章 広報啓発育成事業	29
--------------	----

## II 財団の活動

法人管理	31
------	----

参 考	活動助成事業	広報実績のまとめ記載例	(1) スポーツ	33
			(2) 文 化	34

## 資 料

事業の記録	助成 表彰 イベント・後援等	35
平成 26 年度 収支計算書		41
貸借対照表		42



## ごあいさつ

マルセンスポーツ・文化振興財団は、岡山県のスポーツ・文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に設立。平成25年4月1日をもって公益財団法人へ移行。新たな歩みを開始し3年目を迎えました。

この度、平成27年度 当財団活動の記録といたしまして、公益事業と財団の活動等を収録した、「マルセン」第12号の発刊の運びとなりました。どうぞご覧のうえご指摘を賜れば幸いに存じます。ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
理事長 千原 多美子

# 財団法人の概要

## I 概要

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで設立。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。新たな公益法人制度に移行。平成25年4月1日、公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団として移行登記、新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条で、その目的を「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与する」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
  - 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
  - 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
  - 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
  - 5 その他目的を達成するために必要な事業
- を定め積極的に活動しております。

## II 沿革 (概要)

平成16年2月27日	財団設立。岡山市富町二丁目4番4号に事務所を設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛 第23回山陽女子ロードレース大会
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成 2回目 平成17年7月14日
平成17年3月11日	第1回文化イベント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会チケットプレゼントの実施
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置 (岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 あ感動をもう一度」 表彰者紹介コーナー ・ 映像コーナーの設置
平成18年11月3日	川島 基ピアノリサイタルの開催 岡山県立美術館ホール
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007岡山」「生涯学習見本市」に出展。展示ブース「受賞者の写真・高橋大輔選手のコスチューム」等展示
平成20年3月8日	「マルセン少年サッカー教室」の開催 (岡山湯郷ベル) 会場 岡山ドーム
平成20年11月9日	おかやま学びフェスタ2008「マルセンバルーンアート教室」の開催
平成20年12月1日	新公益法人制度改革3法が施行され「特例民法法人」となる
平成21年2月25日	「マルセン写真コンテスト入選作品展」岡山天満屋地下タウン「アートスペース」において開催 (3月2日まで)
平成21年3月8日	「マルセン少年陸上競技教室」の開催 岡山県陸上競技場 補助グラウンド
平成21年6月24日	第25回国民文化祭おかやま2010への助成金贈呈。 2回目 平成22年5月13日
平成21年7月17日	岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ事務所を移転
平成21年8月6日	「マルセン写真コンテスト入賞絵はがき」のプレゼント
平成21年10月18日	「マルセン少年バレーボール教室」の開催 (岡山シーガルズ)
平成22年1月13日	「スポーツ・文化の振興についての論文」入賞者表彰式の開催

平成 22 年 3 月 5 日	「悠久への回帰 高橋秀 展」チケットプレゼントの実施
平成 22 年 8 月 5 日	「マルセン小学生ソフトボール教室 in 岡山ドーム」の開催 (平林金属女子ソフトボール部)
平成 22 年 8 月 12 日	新田 佳浩氏 (スポーツ大賞) 理事長へ表敬訪問
平成 23 年 7 月 8 日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成 23 年 11 月 3 日	「川島基&松本和将 ～スーパーピアノデュオリサイタル～」演奏会の開催
平成 24 年 3 月 4 日	成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 「東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室」の開催
平成 24 年 3 月 10 日	2012 プロ野球オープン戦チケットプレゼント
平成 24 年 9 月 15～16 日	「山陽新聞レディースカップ」チケットプレゼント
平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」を県知事あて提出
平成 24 年 10 月 5 日	「前橋汀子ヴァイオリンリサイタル」チケットプレゼント
平成 24 年 11 月 11 日	第 2 回航空フェア「フライトシュミレータによる航空教室」の開催 「東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室」の開催
平成 25 年 2 月 9～10 日 3 月 2・3 日	「バレーボールV・プレミアリーグ」チケットプレゼント
平成 25 年 3 月 9 日	人形浄瑠璃「文楽」チケットプレゼント
平成 25 年 3 月 18 日	移行認定許可 (岡山県知事)
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	平成 25 年度理事会及び評議員会において「収益事業の廃止及び定款の一部変更」 案並びに「定款変更申請」を承認
平成 25 年 7 月 20 日	岡山県文化のつどい 第 1 回「美作国建国 1300 年～津山洋学・知は海より来たる～」 講師 白井 洋輔氏・下山 純正氏 同 2 回目 9 月 19 日 「日本から始まった柔道文化」講師 古賀稔彦氏
平成 25 年 8 月 13～18 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ・写真展」の開催
平成 25 年 10 月 24 日	第 10 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動 助成金贈呈式の開催並びに歴代表彰者等との懇親会
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定 (収益事業の廃止) (岡山県知事) 12 月 20 日登記完了
平成 26 年 3 月 2 日	成通グループ マルセン財団 PRESENTS 「楽天イーグルス野球教室」開催
平成 26 年 5 月 10 日	第 10 回沙美アートフェストへ協賛 (今回で休止)
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 8 月 7 日	第 11 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金贈呈式の 開催
平成 26 年 8 月 7 日	岡山県文化のつどい (岡山県文化連盟との共催) の開催 川島 基氏によるお話とピアノ演奏
平成 26 年 9 月 8 日	山陽新聞レディースカップ 入場券プレゼント
平成 26 年 9 月 15 日	財団新CM放映開始 「マルセンバスケットボール教室」の開催 (共催 高松ファイブアローズ) 主管 岡山県中学生バスケットボール連盟
平成 26 年 9 月 27 日	「マルセン親子写真教室」の開催 岡山市龍の口グリーンシャワーの森 講師: 第 10 回マルセン文化賞受賞の難波 由城雄氏 撮影作品選考後、ホームページで入賞入選作の発表
平成 26 年 10 月 10 日	池田綱政公 300 年遠諱記念事業「護国山曹源寺」展へ協賛 県立博物館
平成 26 年 11 月 16 日	第 33 回山陽女子ロードレース大会 (協賛) 岡山市内
平成 27 年 3 月 25 日	公益認定委員会職員による「立ち入り検査」
平成 27 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン 11 号」の発行
平成 27 年 5 月 28 日	選考委員会の開催
平成 27 年 6 月 4 日	定期監査の実施
平成 27 年 6 月 9 日	平成 27 年度第 1 回定時理事会の開催 議題 平成 26 年度事業報告及び収支計算書類について他
平成 27 年 8 月 10 日～11 日	職員 杉本 瞳 高体連ソフトテニス専門部強化事業の講師として派遣

平成 27 年 8 月 17 日・18 日	マルセン子どもスケート教室の開催 会場 ヘルスピア倉敷アイスアリーナ 講師 佐々木美行氏・ゲストスケータ 無良 崇人
平成 27 年 8 月 26 日	第 12 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金贈呈式の 開催 会場 ホテルグランヴィア岡山
平成 27 年 9 月 28 日	山陽放送ラジオ「おかやま元気応援団! 2015」「昼からどーだい! にスポーツ関係 7 団体、文化関係 14 団体 計 21 団体が出演。(毎週月曜日の 12 回)
平成 27 年 12 月 23 日	第 44 回山陽女子ロードレース大会 (協賛) 岡山市内
平成 27 年 12 月 25 日	「再興 100 回院展」チケットプレゼントの実施 100 組 (200 名)
平成 28 年 2 月 5 日	第 30 回倉敷音楽祭 チケットプレゼント 3 月 12 日 50 組 (100 枚)
平成 28 年 3 月 2 日	選考委員会の開催
平成 28 年 3 月 19 日	ファイブアローズ岡山ジップアリーナ開催 TKbjl リーグ バスケットボール試合「高 松ファイブアローズ VS 金沢武士団」の共催及びチケットプレゼント
平成 28 年 3 月 29 日	平成 27 年度第 2 回定時理事会及び第 3 回臨時評議員会の開催
平成 28 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」12 号の発行



番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
3	倉敷市合唱連盟	第40回記念 倉敷合唱フェスティバル	倉敷市合唱連盟では、例年開催の「合唱フェスティバル」が今年度第40回を迎えるのを記念して、連盟傘下の合唱団と市内外の合唱愛好家に呼びかけ、女声・男声・混声の3つの記念合唱団を編成し、「第40回記念倉敷合唱フェスティバル」を企画・開催した。 ・混声合唱には関西合唱会の雄、清原浩斗氏(関西合唱連盟理事長・大阪府合唱連盟理事長)を指揮者に迎へ、氏の指導のもとに練り上げた「筑後川」を演奏した。女声合唱・男声合唱は地元の経験豊かな指導者のもとに、新しい感覚の同声連歌を演奏した。加えて、倉敷少年少女合唱団は、上級生団員を中心に、充実した歌声を響かせ、従来とはひと味違う「倉敷合唱フェスティバル」が実現できた。このフェスティバルのために、女声・男声・混声の合唱団をそれぞれ一箇所に集め、合同練習を行う機会を、次の通り4回に分けて実施した。第1回11月7日 倉敷市玉島文化センターホール・練習室、第2回 12月13日 倉敷市民会館練習室及び芸文館アインター、第3回 1月17日 倉敷市民会館大会議室・練習室、第4回 2月14日 倉敷市民会館大会議室・練習室。参加者は、倉敷少年少女合唱団約70名、記念女声合唱団約100名、記念男性合唱団約30名、記念混声合唱団約180名、合計延べ380名であり、このうち、約30名が倉敷市合唱連盟外からの参加者であった。聴衆からは好評で、特にアンコールで最後に聴衆と共に歌った「故郷」は会場全体を暖かい雰囲気包み、大好評であった。
4	心のひだ・きびの美術実行委員会 ※巻末に記載例	第2回総社市 芸術祭2015 「心のひだ・きびの美術」 —遠との共鳴—	画聖雪舟ゆかりの古刹宝福禅寺の山門及び方丈・庫裏その他の室内全域を使用して、大規模な美術展覧会を開催した。総社にゆかりのある8名の作家(浅野有紀、岡部 玄、櫻尾聡美、草間詰有雄、甲田千晴、児玉知子、佐藤朋子、島田清徳)により、「場との共鳴」、「作家間の共存」、「見て下さる方々との共振」の実現を通して「魂の贈与の場」の立ち上げを目指して行われた。浅野は絹本作品5点。岡部は流木による立体6点。櫻尾はテキスタイル作品の対策1点と他1点。草間はテキスタイル作品(国際コンペ入賞作)1点。甲田は木彫作品2点と他1点。児玉は掛け軸1点と絵画作品大作1点他3点。佐藤は絵画作品7点。島田は布による立体作品でインスタレーション。以上8名の作品で禅寺の室内全域を構成した。特別プログラムとして、5月3日、4日アーチストーク、5月9日中ムラサト・コンサート、5月10日岸本和明(奈義町現代美術館長)によるキャリアトークが開催され、総入場者数1998名を得て、おおむね好評であった。特別プログラムも各50余名の参加者があった。課題としては、伝統的建造物での展示は、見慣れた美術館での展示とは異なる工夫の余地を痛感した。
5	就実・森の学校	ESD(持続可能な社会のための教育)に資する里山再生活動	里山の荒廃が憂慮されるようになって久しい。本活動は、就実学園が所有する山林を「就実・森の学校」として生徒・学生とともに整備し、ESD(持続可能な社会のための教育)プログラムを開発することを目的とする。就実学園は昭和46年から岡山市中区今谷に山林を所有しているが、管理が不十分で、周辺に迷惑をかけるようになり、山林の整備をする必要が生じた。平成23年、調査の結果、竹林の拡大が著しいこと、一方で予想以上に豊かな植生が残っていること、また、校地内に8世紀後半の古墳が22基もあることも判明した。この恵まれた自然や文化遺産を生きた教材として利用するため活動を始めた。活動は、生徒・学生や一般の方々に里山の良さを知ってもらう事業、里山調査、里山整備、里山活用(4分野に分けて実施している。調査の中心は、古墳調査で、古墳の整備、案内板の設置などを進めている。今年度は、年間事業のうち助成を受けて「春のコンサート」及び古墳の保護活動が充実したものとりました。
6	セイ・アート、プロジェクト実行委員会	SEI∞備前遊観 No2・水物語 —「備前ホテル」を作ろう! ワークショップ	岡山県備前市における市政10周年記念事業の中で、地域資源(水景・備前焼・粘土)等を生かし、市民参加行事のスポーツフェスティバルなどの行政主催の行事に、ワークショップとして併設し開催。備前市において、よく行われる「備前焼土ねり」と異なり、アート作品に展開することを、お知らせしながら、創作に参加していただく。主に、小〜中学生と子どもさんの参加となり、今回の展示には、焼成が、間に合わないが、次のアートイベント開催のため、準備と継続的開催を図る。作品「備前ホテル」のおもり、「備前風鈴」として、地域資源である風景(景観)から、水・土・風・土と五感を感じながら創作に参加し、ワークショップでは、アート作品の一部として加わり、共同制作した作品が、備前市内を彩り、展示されることを期待され、楽しんでいただきました。
7	田賀屋狂言会	廃曲になった狂言を復活し鑑賞する会	岡山においても、能、狂言の講演は年間数回ではあるが行われているが、東京、大阪、京都などに行かなければ見ることのできない演目も多いのが現状である。田賀屋狂言会は、これまで大曲や稀曲、岡山が題材になった演目などを岡山に居ながらにして、能、狂言の奥深さを知っていたら企画に取り組んできたところである。昨年、明治維新により廃曲となった狂言の一つ「察化(さつか)」を復活上演したところ大変な好評を得、再演を求められた。このため、本年は「察化」同様に廃曲になった狂言「種酒(ひのさけ)」「犬山伏(いぬやまふし)」二曲の復活に取り組み上演することで、狂言がいかに古くて新しいかえお知っていたこととするものである。 今回動員数が、200を切り、更に多くの市民の理解を得る努力が必要であるが、岡山大学文学部の学生を対象にワークショップ、当日の小中学生親子招待など実施し、これからのファンの増強にも努力した。 ・会場内では、助成団体名を数度アナウンスした。事前PRでは、新聞の他、山陽放送でも生放送ができた。
8	なぎ山麓アート・クラフトホリデー実行委員会	なぎ山麓アート・クラフトホリデー	・5月2・3日の2日間にわたり、奈義町現代美術館前でワークショップを中心としたイベントを開催した。来場者数約2千名、体験者数延べ360名。作家数21名18ブースが出展し、地域住民有志による特産物を使用した飲食ブース6店も賑わいを添えた。 ・広報活動として、各種チラシ総数9000部を発行し各作家の顧客へ送付の他、町広報誌への折り込み、付近地域の飲食店・宿泊・レジャー施設など店舗に設置・配布した。また、FM岡山・エフエム津山などラジオ放送の番組内で取り扱われ、山陽新聞など二誌でも取り上げられ後日の地域ケーブルテレビで映像により当日の様子が放映された。・8mの大型看板のほかのぼり旗20本など作成し、視覚的効果の高い広報効果を発揮した。 ・当日の安全確保として、駐車場出入りに交通誘導警備員を配置し、事故なく閉幕できた。 ・多くの来場者にアート・クラフトの楽しさを広めることができた。また、作家同士の交流も図れ今後の活動に弾みがあったことも大きな収穫であった。
9	ヴォーカルグループ アルゴナウティ	ヴォーカルグループ アルゴナウティ 「オペラコンサート」	平成25年10月、初回打ち合わせ会議において演奏演目・実施時期・本番会場・練習会場等について検討した。「フィガロの結婚」「魔笛」「愛の妙薬」を抜粋で演奏することと決定し、演出家・ピアニスト・稽古ピアニストを依頼、抜粋する部分・キャストिंगなども十分検討したうえで、26年5月から本格的に音楽稽古を開始した。毎月数回の合わせ練習、また本番までに演出家に参加していただいたの立ち稽古を数か月おきに合計15回行った。練習は岡山市内の公民館が主会場として利用した。また、照明・舞台監督・衣装も専門家に依頼し、練習と平行して打ち合わせを行った。カットする部分のストーリーを埋めるための解説方法や演技の中での動き・立ち位置・セリフなどの工夫も検討しながら練習を重ねた。さらに、本番に向けて、詳細な打ち合わせ確認を、練習後や別送期日設けて行った。・平成27年8月16日、岡山市民文化ホールで公演を行った。500名近い入場者があり、観客からは、「ストーリーの面白さがわかった」「演出が楽しかった」「演技と音楽とが一体となって迫力があつた」等々の感想があり、総合芸術としてのオペラを披露できたものと考え、この経験を今後の活動に生かしていきたい。
10	特定非営利活動法人 文化・体験ネット西大寺子ども劇場	設立30周年記念公演 鳥の劇場『すてきな三にんぐみ』	「子どもたちに豊かな創造性と未来を切り拓くたくまじい力を」と、母親たちによって設立された西大寺子ども劇場は、親世代からその子供世代へとバトンを繋いでいる。質の高い舞台鑑賞会の定例実施はたくさんの親子に芸術感動体験を届けてきた。 ・30周年記念誌、鳥の劇場「すてきな三にんぐみ」公演は、観客と舞台が一体となってせりあがり、いままでの歴史を結集したような素晴らしい公演だった。 ・また、芸術監督 中島諒人氏による、演劇部中高校生22人に向けての演劇ワークショップはとても興味深く、参加した学生たちにとって、貴重な学習の場となった。
11	松尾山松本寺理性院学術総合調査委員会	松尾山松本寺理性院学術総合調査報告書の編集と出版事業	平成25年4月1日付で学術総合調査委員会【調査委員: 榎木 修(文学博士)、久安 勝士(京都修復技術)、土井 道弘(就実大学教授)ら】を立ち上げ、平成25-26年度の2か年にわたり総合的な学術調査を実施した。・平成27年度は、調査で助成した成果を周知する講演会を5月6日と8月2日の2回、松本寺客観で開いた。講演会では「マルセンスポーツ・文化振興財団」の助成による事業であることを紹介した。さらに、学術報告書とリーフレットを作成し「マルセンスポーツ・文化振興財団」からの助成であると明記した。
12	真庭市立久世図書館	伝承のわらべうた〜子育てのうた〜	真庭市内の近隣市内で活動する読み聞かせ・読書ボランティアに向けての講座「井上美鈴先生をお迎えして」 ・伝承のわらべうたと、現代 わたしたちが生きているわらべうたが変化している。・わらべうたという、幼い子どもに向けた遊びだと思いがちだが、1歳から13歳まで年齢に合ったわらべうたがあり、また、そのわらべうたには全ての人生を力強く生きていく要素が含まれていた。その子が意味が分かるそれなりの年齢になれば、今まで遊んでいたわらべうたには、こんな意味があったと、説明してあげる。例えば、「にらめっこ」には相手の目をしっかりと見て、悪い人かどうか見分ける力を付ける。「じゃんけん」の勝負には、勝つという意地を育てる。 ・参加された方は口々に「とてもいい会だった、またこのような会に参加したい」と言われた。・以上の状況から、子どもの心を豊かにし、歌っている本人の心も豊かにしてくれる、わらべうたや手遊びを学ぶことにより読み聞かせの幅を広げ、読み聞かせをしてももらった子どもたちの読書推進にも役立てる。また、近年では介護施設への読み聞かせも増えており、老人の方々のコミュニケーションにも繋がる。これからの活動を続けていきたい。
13	みゅーじかる劇団 きんちやい座	環境ミュージカルを介した岡山県内児童並びにその保護者を対象とした教育活動	平成27年4月29日に衆議院議員館において山北3区町内会総会が、同年6月14日にアルネ津山において親子エコフェスタ2015が、同年10月24日に津山サンヒルズにおいて津山小妻&ショウカ祭が行われ、それぞれの場において申請活動で2014年度に津山市環境事業所が公募・製作した3R教育用キャラクター、「エコのい3R」を主人公とした環境劇を上演した。観客は各回それぞれ100余名であり、いずれも好評の内に公演を終えた。・また、平成27年8月24日から同年11月にかけて、環境教育内容を各番組をテレビ津山と連携して製作し、放映した。番組はDVD化され、津山市低炭素都市推進室の仲介で津山市の全小中学校に配布された。また、平成28年1月25日より、地産地消実施によるフードマイレージの圧縮を訴える番組も制作し、現在も放映中である。
14	ミルフィュー プラスクインテット	ミルフィュー プラスクインテット シリーズコンサート	事業中止
15	やかげ夏の行灯まつり実行委員会	「やかげ夏の行灯まつり」と「矢掛小唄おどり」	宿場町矢掛には、秋の「大名行列」、春の「流しびな」などの名物催しがあるが、夏のイベントとして、瓦屋根、白壁、格子窓の家並みにふさわしい「吊り行灯」と60年ぶりに復活させた「矢掛小唄おどり」を新しい名物として育てていきたい。多くの方の訪問を迎えるためには、広報活動が大切であると考えており、 ・「行灯まつり」の「吊り行灯」の追加製作(昨年100個、本年150個)、「小唄おどり」の衣装の追加製作(昨年30枚、本年50枚)の費用に充当させていただき、一段と内容を拡大、充実させることができました。昨年より一段と充実「吊り行灯」「小唄おどり」となり、大勢の観客、カメラマンから喝さいを浴びました。 ・来年度も、更なる充実、拡大を図り新しい矢掛の名物催しに育て、地域の活性化を図りたい。

## 第2章 表彰事業関係

### ① マルセン大賞

平成26年度におけるスポーツ活動において国際大会・全国大会等で、特に優秀な成績・業績を取めた個人又は団体並びに文化活動において文化の振興に著しく貢献した個人又は団体を表彰しました。

#### 【マルセン文化大賞】

##### ● 隠崎 隆一 【工芸 備前焼】

- 県外出身で2代目、3代目が輩出されない作家にとって、良い備前土の入手が困難な中で山土なども使用した従来の備前焼になかった造形感覚の作品として注目されている。  
また備前焼では不可能だと思われるような新しい造形への制作力には目を見張るものがあり、公募展出品、個展開催には常に新しい形が生まれ、目の離せない作家として内外から一目置かれる存在である。各種公募展での入選・入賞、国内外での個展、招待出品は枚挙に暇がないほど。一窯業地・一種類の陶磁器に、同時に2人の例はないが近年他窯で設定された作家と比較しても決して遜色がない。岡山県民の誇りである。

※マルセンスポーツ大賞の該当者なし

### ② マルセン賞

平成26年度スポーツ活動において優秀な成績を取めた個人、団体又はスポーツの振興に貢献した個人、団体並びに文化の振興に貢献した個人、団体を表彰しました。

#### 【マルセンスポーツ賞】

##### ● 荒島 夕理 【陸上競技】

- 平成23年岡山市立吉備中学校へ入学し、2年生時に400mリレーで全国中学校大会優勝メンバーとなり、3年生時は100m障害で同大会7位入賞。400mハードルは高校1年生のシーズン終盤から本格的に取り組み始め、森定照広監督の下で急速に力をつけた。高校最後のシーズンは、再びの全国3冠と20年以上破られていない日本高校記録(57秒65)の更新を目標に掲げる。

##### ● 井上 全悠 【卓球競技】

- 1歳未満の時に交通事故により、両下肢障害となる。小学校の時に卓球に出会い、中学・高校と金光学園卓球部(一般)において活躍。平成26年に行われた2014アジアパラ競技大会では、7クラス個人において銅メダル。団体においても6〜7クラスで銅メダルを獲得。今年2月には岡山県トップアスリート賞 栄誉賞を受賞している。

##### ● 原田 裕成 【自転車競技】

- 浅口市金光中学校卒業後、岡山県立水島工業高等学校へ入学し自転車競技を始める。  
3年生時のインターハイでは3キロ個人追い抜き・ロードレースにて3位入賞。平成26年に行われた第83回全日本自転車競技選手権大会トラックレースにおいて、男子エリートスクラッチ(15Km)優勝。男子マディソン(25Km)優勝。

##### ● 日本 雄也 【水泳競技 競泳】

- 南関東インターハイの競泳平泳ぎ200mで優勝し、岡山勢男子として初の頂点に立った。その後の100mも制し、岡山勢では1966年に女子自由形で2種目制覇した木原光知子氏(山陽女子高校、故人)以来となるインターハイ2冠の偉業を果たした。  
200m決勝は驚異的なラストスパートで逆転、100m決勝では先行逃げ切り勝ちと展開を自在に操れる巧みさも光った。小学生6年生時から指導を受ける南條正行コーチ(アクロポート=岡山市)の下、力強いキックと伸びやかなストロークを身につけ才能が開花。昨夏、米ハワイで行われた「ジュニアパンパシフィック大会」では、100mで4位入賞を果たした。卒業後は近畿大学に進み、五輪出場を目指す。

##### ● 丸本 大翔 【ウエイトリフティング競技】

- 男子105キロ級で全国高校選抜、南関東インターハイ、長崎国体の高校3冠を達成。  
岡山県勢では4人目の快挙で、2年生での達成は初めて。中学校時代はソフトテニス部だったが、高校入学を機に親戚の薦めもあって重量挙げに転向した。今年1月に倉敷市で行われた中国高校選抜大会では、スナッチで日本高校新記録の141キロをマークし、潜在能力の高さを再び証明した。重量級の選手に多いパワーだけに頼ったスタイルではなく、天性の柔軟性と正確なフォームが躍進の原動力。高校生最後の1年は、岡山県勢初の全国6冠達成と、ジャーク、トータルでも日本高校新の樹立を狙う。  
(※昨年、選抜大会・インターハイ・国体と高校3冠に続き、見事2015わかやま国体にて絶対王者として6冠達成)

## 第2章 表彰事業関係

### 【マルセン文化賞】

- **粟利郷太刀踊保存会 岡山県重要無形民俗文化財 【伝統芸能】**
  - 同保存会では、毎年10月に瀬戸内市邑久町土井八幡宮、牛窓町粟利郷天神社において奉納神事を行っている。地元の少女が太刀となぎなたを持ち、軽快なリズムと歌に合わせて踊るもので、本来は10歳の少女4人で踊りをしていたが、近年の少子化にともない現在では男子を踊り子に加えて踊り、活動を行っている。平成14年には岡山を代表して「中国・四国ブロック民俗芸能大会」に出演し、太刀踊りの魅力を県外の多くの人に広め、平成19年には「おかやま子ども民俗芸能大会」に出演し、県内の多くの人々をも魅了した。また、平成26年に開催した「岡山県民俗芸能大会」にも出演し、民俗芸能の保存・伝承、普及啓発活動に積極的に取り組んでおり、その活動は県内伝統芸能の模範となり、今後の益々の活躍が期待される。
- **小野 耕石 【美術 版画】**
  - 平成26年12月、絵画、写真など若手平面美術家の登竜門とされるVOCA展2015で最高賞であるVOCA賞を受賞。岡山県での活動は、2007年以降アートプロジェクト「犬島時間」に参加。また第3回岡山県新進美術家育成「I氏賞」奨励賞を受賞。2015年には、イオンモール岡山の内のアートスペース「アーツハレマチ」に作品展示している。書きしるされた資料は、足を運んで写真にとり推敲された貴重な郷土の歴史資料である。
- **河本 昭政 【美術 洋画】**
  - 「改組 新第1回日展」第二科(洋画)にて、ソファでくつろぐ女性を大きな空間の中に収めた「女」が初の特選に選ばれた。モデルの妻と二人三脚で描き続けて35年。いわゆる美人画的要素や衣服の表面的な猫写などにはこだわらず、女性の本質的な美しさ、内面的な情趣をじっくり描き出した佳作であり、今後の活躍にも期待がふくらむ。
- **藤本 理恵子 【美術 日本画】**
  - 「改組 新第1回日展」第一科(日本画)にて、池田動物園で取材したアメリカバイソンをモチーフに選んだ「バイソンの森にて」が、初の特選に選ばれた。座り込んだアメリカバイソンのもこもこした毛を森に見立て、色鮮やかなインコを遊ばせた画面は幻想味豊か。作者は、後樂園の丹頂鶴を初め、動物を題材に温かな命の鼓動を伝える作風を続けてきたが、今後も動物シリーズの展開に期待がもたれる。
- **森上 光月 【美術 書道】**
  - 「改組 新第1回日展」第五科(書)にて、古筆の品格を追及した端正な書で古今和歌集3首を表現した「梅の花」が、初の特選に選ばれた。審査では、「自然な運筆の呼吸で立体的に形成された紙面。澄明感漂う和様美が巧みに表現された」と称賛され、今後の発展にも期待できる。
- **守屋 剛志 【音楽 ヴァイオリン】**
  - 幼少より、ヴァイオリンの天才少年と多くの人々から認められた存在でしたが、自己の才能に溺れず現在は益々技術力の高まりを感じ、その上その音楽性の深さと高貴な音色は聴いた人全てに感動を呼び起こします。近年はソロ活動と共にクアルテット(四重奏団)を組み、その第一奏者として世界的な演奏活動をして、2014年にはベルリンのコンクールで第3位。又、ニューヨークのヤングコンサート・アーティストオーディションにて第2位。その上特筆すべきはオランダのオランダ国際室内コンクールにて優勝、併せて聴衆賞を受賞しました。この事はとてつもない快挙です。岡山県が誇るヴァイオリン演奏者であり、今後益々世界的に為って行く人物と期待がもたれる。



## 贈呈式

**と き:**平成27年8月26日(水) 午前11時より

**と ころ:**ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

**式次第:**

1 開 式	5 特別賞受賞者あいさつ
2 あいさつ	6 助成金贈呈
3 来賓祝辞	7 助成団体代表あいさつ
4 表彰状及び副賞贈呈	8 閉 式



## 受賞者からのひとこと

マルセン文化大賞

工芸 備前焼・隠崎 隆一



感動に出会いたい

この度の思いもよらぬマルセン文化大賞は、備前の土に触れた39年間に十分に思い返させていただき感謝しています。

岡山の地で備前焼という文化に触れたのは何かの縁か運なのか計り知れませんが、修行に入った当初は目の前には土しがなく、岡山の文化も気候風土も知る由がなく、予期せぬ出来事の日々でした。ようやくここに来て少し振り返ると、信念らしきものが見えた気がしています。

築窯独立して約30年。創作衝動の原点は生まれ育った五島列島の自然を備前陶土の物質性に据えて壮麗なイメージを重ねていたのかもしれない。当初より外来者は近未来的な造形作品を入手可能な土で制作する使命は自覚していました。焼き物は、縄文弥生時代から続いている日本の文化です。無釉焼締の備前は1000年の歴史がありますが、備前焼を支える『田土』の減少は近代備前には痛手です。近年は廃棄処分されている土も使い、情趣と緊張感のある作品を意識しています。人間の血や肉も大地に還るのに『クズ土』という表現はしたくない。オブジェよりも実用を意識するのは、土に『生かされている』ことを実感したいからだと思う。これは自然に囲まれ人が少ない地域で育った影響かも知れません。

土の秘める力を引き出そうとする作風は当初は批判も浴びましたが、それらは大切な糧に成っています。備前の気候風土、歴史があったからこそ今の形に繋がっている事はしっかり認識し感謝しなければなりません。作っているというより生まれ来るものに手を添えているにすぎない。その添え方が作家の個性で土が形を変え、そしてまた土に還って行く。日常生活がその一部になり空腹感を満たす感じで土に触れていた。

受賞は『もっとどんどんやってよ』と受け止め、名誉や権威、名品や名作よりも自分の思いを大切にす人材が残るような事に手助け出来ればと思っています。



マルセンスポーツ賞

陸上競技・荒島 夕理



夢に向かって

この度は、マルセンスポーツ賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。

私は、小さいころから走ることが大好きで、小学校4年生の時に陸上競技を始めました。中学3年生の時には100mHで全国大会7位入賞をすることができました。高校に入学し、1年目は個人種目でインターハイに出場することはできませんでしたが、4×400mRのメンバーの一人としてインターハイという舞台で走らせてもらい、来年は自分の種目でもここで走り、勝負したいと思いました。2年生になり、400mHを本格的に始めました。初めはうまくいかなかったハードル間の歩数も、普通の人より1歩2歩少ない15歩という歩数で試してみたところ、スムーズに速く走れるようになりました。待ちに待ったインターハイは驚くほど調子がよく、優勝という結果も本当に信じられませんでした。それから走る度に自信もついてきて、その後の日本ユース、国体も優勝することができました。そして、今シーズンに向けて自己記録を更新するために、冬季練習で新しい取り組みをしっかりとやってきました。しかし、3年生になり、いよいよシーズンインという時に自分の不注意で怪我をしてしまいました。思うように治らず、ようやく走れるようになってからもなかなか自分の走りが戻らなくて、不安な日々が続きましたが、インターハイは何とか故障も治り、ベストな状態で臨むことができました。結果、優勝はできませんでしたが、もらったメダルはとても嬉しかったです。調子も戻り、優勝を狙った国体、そして日本ジュニアは、どちらも2位という結果でした。勝負の世界の厳しさを感じた今シーズンでした。この経験を糧に次につなげていきたいです。

この3年間を生かし、この先も精進して、2020年の東京オリンピックを目指して頑張りたいと思います。



## マルセンススポーツ賞 卓球競技・井上 全悠



これまででの卓球人生を  
振り返って

この度はこのような素晴らしい賞に選出して頂き感謝申し上げます。またこれまでの私の活動が評価して頂けたことを誠に嬉しく思います。

今回は2014年に韓国の仁川で行われたアジアパラリンピックにおいてシングルスで3位という成績を評価して頂き、この賞に選出して頂いたことと思います。これまで多くの国際大会に出場して参りましたが、名称にパラリンピックと付く大会には初めて出場させて頂きました。まだアジアではありますが、パラリンピックという大会に出場させて頂き、このような成績を残すことができたことを誇りに思います。そして、またこの舞台に帰ってきたいと強く思っているところでございます。

現在の私の最終目標は東京パラリンピックにおいての金メダル獲得です。大きいことを口にはしているとは思いますが、目指さなければ掴み取ることは不可能だと思っているからです。また自分が現役の選手で戦っている間に自国でパラリンピックが開催されるということも本当に幸せに思います。そのため、4年間の月日をかけて最高の準備をして活躍したいと思っております。

また私は一流の選手になることと同様の思いで、障がい者卓球また障がい者スポーツの発展に貢献したいと思っております。現在の日本では障がい者卓球また障がい者スポーツ共に認知度が低いと思われれます。そのため、私は卓球という競技を通して、少しでも多くの方々に障がい者スポーツの素晴らしさを伝えていきたいと思っております。

最後になりましたが、この度のマルセンススポーツ賞に携わって下さった方々には大変感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## マルセンススポーツ賞 自転車競技・原田 裕成



2015年を  
振り返って「夢に向かって」

この度は、マルセンススポーツ賞を頂きまして誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

現在私は鹿児島にいます、鹿屋体育大学自転車競技部に所属しております。この大学四年間は私にとって非常に濃い四年間だった事は間違いありません、現在の活動は七年前自転車競技を始めたものとはまるで違う環境で活動しています。

七年前はひたすら自転車が好きで、強くなりたくて24時間自転車のことばかり考えていました、今でもその気持ちは変わりません。七年間の中で環境は刻一刻と変わっていき、好きだという気持ちは一切変わりません、これからも変わる事はないと思います。そして自転車競技を初めた頃夢見ていた憧れた世界へ、今一步を踏み出そうとしています。あとき憧れた選手と走れることに高揚感を抱いています。気がついて見れば以前の自分が憧れたところへ、夢をまっすぐに見続けると確実に夢に近づいていけると言う事を経験的に学ぶことができました。

僕の夢は東京オリンピックで金メダルを獲得することです!!  
簡単な事ではありませんが、叶はずない事でもないと思います。

そして一人の力ではここまで成長する事は当然無理でした、そしてこれからも一人では無理だと思います。誰かの力を借りて、支援いただき、応援いただくことでスポーツの価値や感動を見いだせると私は思います。だからこそ今まで以上に感謝しながら今後も活動していきたいと思えます。自転車競技の発展を心から願っています。

(自転車競技 鹿屋体育大学 スポーツ総合課程)



## マルセンススポーツ賞 水泳競技 競泳・日本 雄也



### マルセンススポーツ賞 受賞にあたって

この度はマルセンススポーツ賞という栄誉ある賞を受賞させていただきありがとうございます。また、同時に今まで以上の結果を残すために努力していこうという決意を新たにしました。

私は物心がつく前から二人の姉が水泳をしていた事もあり、親に勧められて水泳を始めました。小さい頃から特別に速く泳げるという事はなかったですが、小学6年生の時に出会った南條コーチのもとで水泳の楽しさを知り、水泳を頑張っていこうと思いました。

それからきつい練習に挫折しそうになる時もありましたが、私の中で決めている「やる前に諦めるな」「何もせずに結果は出ない」という言葉を思い出しながらきつい練習も乗り越えることが出来ました。そして、高校3年生の時、1年生の頃から目標にしてきた全国高校総体(インターハイ)で優勝することができました。1年生の時はインターハイ出場が限界で優勝は夢でしたが、3年生の時にそれを叶えることができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいでした。また、優勝すると同時に、緊張した中でのレースの仕方や緊張のほぐし方などさまざまな経験をつむことができました。この優勝や経験は、自分一人だけで掴めたものではなく、両親やコーチ、水泳部の仲間たちのおかげで掴めたものと本当に感謝しています。

今後の抱負としては、まずは日本の中でトップ選手となり、世界で戦える力をつけたいと思っています。私は平泳ぎを専門種目としています。日本の平泳ぎは世界でもトップクラスなので、その中でトップクラスの力をつけ、日本でも優勝争いをする選手になる事を目指しています。そして2020年の東京オリンピックでは、日本代表とし世界で戦える選手となり、活躍する事を最大の目標に掲げ頑張っていきたいと思っています。



## マルセンススポーツ賞 ウエイトリフティング競技・丸本 大翔



### マルセンススポーツ賞 受賞にあたって

この度はマルセンススポーツ賞という栄誉ある賞を受賞させていただき、大変光栄に思っています。私自身、このような賞をいただけるとは思っていませんでした。

思い返せば、2年前の春に水島工業高校に入学し、河島監督に声をかけていただいたことがすべての始まりでした。ウエイトリフティング部に入部した当初は、全国大会に1回くらい出場できればいいなと思っていました。ですが、監督の熱心な指導と同期や先輩たちより重い物を挙げたいという負けん気で記録を伸ばすことができ、全国大会出場が目標だったはずなのに、一気に全国優勝してしまいました。高校日本一という称号に家族や他の人よりも驚いていたのが自分自身でした。嬉しさよりも信じられないという気持ちでした。ですが、次の大会から負けることができないうプレッシャーと戦うことになりましたが、家族や監督の支えもあり、インターハイ、国体と優勝することができ2015年1月にスナッチ日本高校新記録を樹立することができました。

この度は、全国三冠とスナッチの高校記録更新を評価していただきましたが、2年連続の全国三冠と三種目全ての高校記録更新への励みとなりました。受賞させていただいた喜びも加わり、和歌山国体で六冠を達成すると共に三種目で高校新を樹立できました。

これらの結果は、自分だけの力ではなく監督や家族、岡山県のスポーツへの支援のおかげです。本当にウエイトリフティングをしていて良かったと思います。

今後は、大学へ進学して以前マルセンススポーツ賞を受賞された田中太郎さんをはじめとする日本のトップと戦い、自分をもっと成長させ世界へ挑戦できるよう努力していきたいと思っています。



## マルセン文化賞

伝統芸能・粟利郷太刀踊保存会



## 時代の流れ

このたびマルセン文化賞をいただき大変ありがとうございました。  
当 太刀踊が賞をいただく事に大変驚いています。当 太刀踊は大変素朴で地味な踊りなもので、最近のイメージとかけ離れその地味さで賞をいただけたと自負しています。

そもその始まりは今から1300年以上昔、神社建立と計画して西国第一の霊場たる宇佐八幡宮を勧進することに決めて神官二人と氏子総代が宇佐に参拝し神事を厳修し、ご神体を捧持して瀬戸内海を帰る途中に大嵐にあい、苦しい航海を続けようやく帰り着いた時には神官も氏子総代もすっかり疲れ殊に空腹を抱えて大弱りし、そこで村人たちは飯を神前に供えて疲れ果てた彼らを癒すために、今の小学校4年生ぐらいの少女4人が太刀となぎなたに分かれ舞ったのがきっかけで今日に至っています。最初は座舟のスイタを清めて舞台とし、敷板を拍子木様の木片で叩いて調子を取り歌い、踊りをしたのが始まりです。近年は10月第2日曜日に大土井正八幡宮、第3日曜日を粟利郷天神社に奉納する踊りが伝えられています。しかし、気がかりな事は少子高齢化に伴い、当地区でも踊り子がいなくなる恐れが大いにあります。もともと伝統芸能は地方が多く、都市は少ないためどこも無形文化財の存続が危ぶまれています。当地区も例外ではなく、今後踊りを存続するために色々と考えを取り入れて行かなければ、一度休んでしまえば再開は困難だと思います。

例えば、地区の大人の人に踊ってもらおうとか、嫁いだ人に踊ってもらおうとか色々と考えています。今後も末永く、伝統行事を続けていきたいと思っています。

会長 神宝 正行



## マルセン文化賞

美術 版画・小野 耕石



## 小野耕石の文章

2015年マルセン文化賞をいただく4年ほど前、今後の自分の芸術活動に対する簡潔な理念をノートに記している。その一部ではあるがここに残したいと思う。

「今、表現者である諸君は自分の持っている表現手段、各々流れ着いた場所で自己表現をしていると思うが、自ら選んできた数々の手札には各々の持つ概念というものがある。その手札の持つ概念の中には、物質的な基本観念や技法の持つ固定概要、先人たちの建設的な理念と破壊運動の上に固定化されようとしている。それを模倣することは、芸を教え込まれたサル同様の行為に似て人間的な表現であるとは言い難い。つまり人間が人間としての表現行為とは、自分の選り取ってきた手札に「自分」という手札を加え、その手札の持つ既存概念を疑い、こねくり回し、タダシイともマチガイともつかないものを、「正しい」として表出すること。抵抗的な自由と言ってもいい。そこそそに未来の「芸術」という意味合いの持つ底知れない可能性をみるのである。

もちろんここに書かれている芸術性が評価としての役割を果たすことは難しい。なぜならそれらは明らかな形として表れてくることはなく、表現者はむしろその事実を隠そうとするものだからだ。しかしその抵抗は違和感として表に現れてくる。あなたはそのサインを見逃してはいけない。2011.6.27」

ここで言う「手札」とは自分にとっては版画技法であり、あらゆるものを選択してきた「自分」である。他者への語りかけるような口調も自分に対する理解不満だと解釈すると人間らしい。今後まだまだ人生も変わっていく、どうせ泥臭い芸術家にしかなれないんだから精々製作。



## マルセン文化賞 美術 洋画・河本 昭政



## 私の制作

この度、思いもかけず栄えあるマルセン文化賞を受賞いたしました。ご推薦頂きました上西先生、マルセン財団千原理事長を始め関係各位に感謝申し上げます。

広報誌への寄稿のご依頼がありましたので、私の制作についての雑感を述べたいと思います。

私は長い間、女性像をモチーフにして制作してきました。最初の頃は、画面に人物をどう入れるかと言うことだけを考え、存在感を求めて描いてきました。今でもその気持ちは強いのですが、最近になって少しずつある空間の中にどう美しく存在させるかという意識が強くなってきました。そして、そういう意識が強くなってくればるほど、私の本当のモチーフは女性像自体ではなく、対象に当たっている「光」とそれによってできている「陰」の美しいグラデーションなのではないかと考えるようになりました。対象は同じでも、光の当たり方、陰の付き方によって、全く違った絵になります。

坂本繁二郎は「光こそ自然が語りかけてくれることばとさえ思いました。アトリエの光のぐあいは、制作する私にとって生死をきめる問題です。ひとつ、ふたつと窓を閉ざしていくうちに、アトリエ中の窓を全部板で打ちつけ、窓からはいる乱反射や雑光を断ち、天窓からの純光で仕事をするくせがついてしまいました。」と語っています。

これは、絵を描く場合、何を描くかというより、どう観るかということのほうが大切だということを言っているのだと思います。

これからも、広い空間のなかに静かにひっそりと存在している対象物の美しさを捉えるために、じっくりと「光と陰のドラマ」を追求していきたいと思っています。



## マルセン文化賞 美術 日本画・藤本 理恵子

マルセン文化賞  
受賞にあたって

このたびのマルセン文化賞の受賞、誠に有難く光栄に存じます。芸術には、評価の物差しがありません。基準があつて無いようなもので、技術的な上手い下手はある程度分かりますが、上手な絵が必ずしも人に感動をあたえるとは限りません。

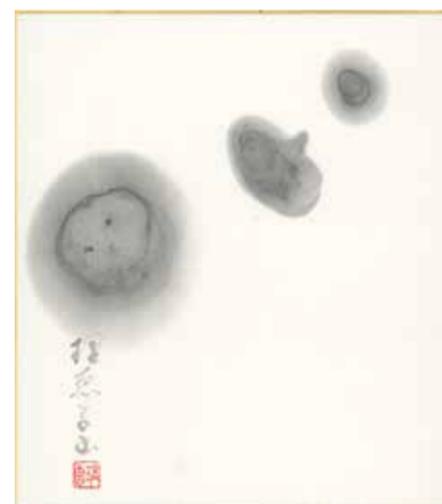
逆に稚拙な絵でも、何か心に響いて印象に残るものがあります。決して点数では表せないものですし、その意味でも賞を頂くというのは、他人から褒められたということ以上に対外的に認められたという事で、本当に嬉しく思います。

私は、20年間で弟子という形で修業して参りました。その間、唯一個展を発表の場としておりましたので、このような大きな賞というものには全く無縁な所に居たわけですが、その後、いろいろな方のご縁を得て、発表の場を広げることができ、この栄を頂くに至った次第です。暗中模索していた中で、先に少し光が見えたようで、向かっていく方向は間違っていないと、背中を押してもらって前へ進む覚悟が出来たように思います。

色紙の指毫には「心」という一字を描かせていただきました。絵は心を映すというか、描く者の人間性・精神性が現れます。ですから、普段から自分を律して心を磨く努力をしていかないとはいけません。絵を描くということは自己表現ですが、自己満足で終わらないよう、観る人の心に少しでも響いてもらえる、残像として印象に残る、そんな絵が一枚でも描けたらと思います。

これから先、表現方法はいろいろ有りますし変化していくでしょうが、自分の中で1本おれないもの「心」を持っていたいと思います。到達点など無い厳しい世界だとは思いますが、好きな道、これからも日々精進して参りたいと思っています。

有難うございました。



色紙「心」



「バイソンの森にて」

## マルセン文化賞

美術 書道・森上 光月


 マルセン文化賞を  
受賞して

この度改組新第一回日展における特選受賞を受けて、幸運にも栄えあるマルセン文化賞を受賞させて頂くことが出来、身に余る光栄と存じております。そもそもこの賞は、郷土の文化振興を発展に寄与することを目的に、県内で功績があった芸術関係者に贈られる賞と認識しておりました。それ故自分が選ばれるとは夢にも思っておらず、心より感謝申し上げる次第でございます。書の道を志してから30数余年、ただひたすら上手になりたい、自分の感性を最大限に生かして、自分にしか出来ない仮名作品が書ける書道家になりたいと思って、精進して参りました。特選と受賞した作品は、恩師高木聖鶴先生の醸し出す平安の雰囲気になんとも近付きたいと願い、私なりの作品構成によりひたすら書き込んだ作品であり、それが評価されましたことには、無上の喜びを感じました。そして又、この度の文化賞受賞、私の生涯においても決して忘れることのできない褒賞であったと思っております。これから後は、自らの修業のみならず、その目的と後輩を育成し県の文化振興を担う気持ちを胸の内に秘めて、創作活動に励み多くの人々に仮名書道のすばらしさ、魅力を伝えていけたらと思っております。仮名書道は日本独自の優れた文化遺産であります。日本人に生まれ、日本の文化に携わり、そうすることが自分自身をも磨き、自分の人生を豊かにしてくれる、それが更に県の文化振興の一端を担うなら、もう何も語る必要はなくこれからも一層の精進を続けて参りたいと思っております。

改めまして、この度の文化賞受賞誠に有難うございました。心より厚く御礼申し上げます。



色紙「平常心」

## マルセン文化賞

音楽 ヴァイオリン・守屋 剛志



## 感謝の文

ベルリンの州立絵画ギャラリーでポッティチェリ展が開かれ、ほぼ毎日通いました。ポッティチェリの絵の美しさには、平安、やすらぎ、慈愛の雰囲気があり、これはカタログでは全然伝わってこないものです。こちらの日々のコンディションによっても見え方が異なり、絵も音楽と同じように「いま」の「ライブ」なのだと感じます。

名画の前へ立つと、ある集中力を求められます。見ようとすると入ってこないものが、見ようとしないで委ねると、吸い込まれるように時間から抜け出て、思考も止まります。罨にかかったネズミのような固まった執着とは逆の、解放された安らぎの広がりには癒されます。ぼーっとしているようでいて、実は宇宙の星の数に身を委ねるような集中力もあるように思います。

最近まで忙しさや不安を行動もモチベーションにしていたのですが、いろいろな経験の中で平安へのプロセスを学びました。ポッティチェリはそれに確信を与えてくれました。身体の中で一番大きな空間は頭ではなく、ボディです。入ったり出たりする空気を感じ、そのたびに不安や憂いがキラキラと跡形もなく消えていくイメージのみで、この内なる宇宙は濁るということを知りません。

美術館の隣の協会でミサを聴いていると、牧師さんが蠟燭の火を手を言いました。「私たちは火から来て、火に帰っていく。一度だって独りきりだったことはない。」この明かりを、仏教では「照明(しょうみょう)」といいます。

最後になりましたが、マルセン文化賞をいただきまして心より御礼申し上げます。感謝を忘れず、明かりを少しでも灯せるような演奏活動を続けます。



# ホットコーナー

## 国体岡山県選手団

### 誇るべき和歌山国体11位

堂々と誇るべき「11位」だ。2015年秋の和歌山国体で岡山県選手団は天皇杯順位(男女総合成績)11位をマークした。男女総合優勝した05年地元国体以降で見ると、06年兵庫と並ぶ最高順位。都道府県の競技力指標となる天皇杯順位は人口や企業立地などの県勢に比例するとされ、10位以内は東京、大阪、愛知などの大都市圏ばかり。人口200万人を切る岡山の健闘ぶりが光る。

10月6日、国体閉会式を前にした和歌山市紀三井寺陸上競技場で、岡山の選手たちが躍動した。陸上少年男子B3000で名合治紀選手(倉敷高)が爆発的なラストパートで初優勝。直後の成年少年女子共通400リレーでも「100秒11秒台」の4選手が県新記録で4位入賞し、男女総合得点を1222.5点に伸ばした。追いつがる兵庫県とわずか7点差で、前日からの天皇杯順位11位を死守。14年長崎国体から二つ順位を上げた県選手団は、閉会式で感慨に浸った。

掲げていた目標順位は10位台前半。中国ブロック予選の突破率はこの10年間で最低の46.1%となり、不安とともに迎えた本大会だったが、県体育協会が「危機感をばねに各競技が力を結集し、総合力の高さを示してくれた」とたたえるように、予想を上回る好結果となった。



大会最終日に4位入賞した陸上成年少年女子共通400リレーのメンバー

その原動力となったのが少年勢だ。会期前競技2日目の9月13日、体操少年男子団体で関西高のメンバーが今大会で岡山勢初の頂点に輝いたのを皮切りに、馬術の福岡珠緒(就実中)が2種目制覇、重量挙げ105kg級では丸本大翔(水島工高)が完全優勝を飾るなど、13を数えた岡山の栄冠のうち、少年勢は九つを占めた。特にソフトボール少年女子県選抜の初優勝は、中盤までの勢いが減速するかと思われたタイミングで多くの競技得点を得ただけに、大きなインパクトがあった。

開催県の威信をかけて優勝を勝ち取った地元国体の後、天皇杯順位が右肩下がりになるケースが多い。しかし岡山は天皇杯を獲得した05年以降も10位台を維持しており、関係者の注目を集めている。山陽新聞社運動部では昨年、「栄光の遺産 岡山国体から10年」を長期連載し、タイトル通り国体が地域に残したものについて検証したが、今回の好成績はまさに「遺産」の存在を裏付けたといえる。

競技現場では今も、国体に対するモチベーションが維持されており、選手、指導者の国体に懸ける気持ちの強さと、経験値の向上が成績につながっている、と県体育協会は分析する。その背景には岡山国体に向け、県が全競技を万遍なく強化した点があるようだ。また、国体に合わせて誘致・発足させたバレーボールの岡山シーガルズ、サッカーのファジアーノ岡山、岡山湯郷ベルなどのトップチームが地域に定着し、スポーツ熱が飛躍的に高まったことを忘れてはなるまい。

隣県広島は1996年の地元国体優勝以降、天皇杯順位10位台を保ってきたが、昨年は21位に終わった。地元紙は検証記事の中で、10位台前半を維持する岡山の事例を取り上げ、その要因を「県体育協会を中心とした組織力」と書いた。かつてのスポーツ王国・広島に取って代わった岡山が中国地方ナンバー1の地位を維持し、さらなる飛躍を図るには、トップチームの大半を市民クラブが占める特徴を

とらえた強化体制や、中国インターハイ、全国中学校大会を踏まえたジュニア層の育成システムを、すべての競技関係者の連携によって一層堅固なもの

にすることが求められている。

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



開会式で入場行進する県選手団



岡山勢の優勝第1号となった体操少年男子の関西高



ソフトボール少年女子で初優勝し、歓喜する岡山県選抜チーム

## 誕生から30年新しい連携や展開に期待膨らむ



1月の週末、「カルチャー散歩」と決め込んで、家を出た。向かったのは、岡山市中心部。午前10時半、岡山市立オリエント美術館の地下講堂にすべりこんだ。

年代物の蓄音機から、温かみのあるオーケストラ演奏が流れてくる。70年以上前に録音されたシベリウス「交響曲第7番」「フィンランディア」…。レコード盤を返しては針を替え、少しの中断を挟みながら1時間余り、愛好者に交じって耳を傾ける。

「SPレコードコンサート」。1980年代から月1回、無料で開かれている。歴史ある「音楽の時間」だ。運営に当たる宗恭弘さんと山田敏弘さんが、「一発勝負の吹き込みだから、演奏家の意気込みが違う。面白い音楽です」と笑顔で魅力を教えてくれた。さて、次はどこに行こう—。

文化施設が集積する岡山市中心部が「岡山カルチャーゾーン」と名付けられて30年になる。2015年度は、県立博物館に各施設の名品を一堂にそろえた「岡山カルチャーゾーンの魅力」展、岡山市出身の工業デザイナー水戸岡鋭治氏デザインによるロゴマークの作成など、記念行事が続いた。

1985年、文化都市・岡山の“顔”に—と、岡山城、後楽園、県立博物館、オリエント美術館、林原美術館、夢二郷土美術館の6施設が県、市、民間の枠を超えて連絡協議会を発足。スタンプラリーの企画や割引券付きマップの作成などで観光客らの回遊性向上に努めた。その後、音楽ホール、図書館なども加わって、現在は、半径1km圏内に12の文化施設が集う、全国屈指の文化ゾーンになっている。後楽園や美術館など有料7施設の利用者は、2014年度約110万人。瀬戸大橋開通に沸いた1988年のピーク時(約230万人)に比べれば半減したものの、2004年に開館した県立図書館は10年連続で入館者数が100万人を超え、14年度、県天神山文化プラザ(05年開館)は約21万人、ルネスホール(同)も約5万6000人が利用。一帯には映画館のほか、

ギャラリーも多く、観光客だけでなく、カルチャーを楽しむ人が自然に集まってくる。

午後は、画家・宮忠子さん(岡山市)の展示を目的地に県立美術館へ。墨だけを用いて、四季折々の光と風に揺れる岡山の自然風景を描いた作品が並ぶ。植物の柔らかさや太陽のぬくもりが伝わってくる。お隣の県天神山文化プラザに行くと、ファッションデザイナー山本哲也さん(岡山市)の個展会場で、ダンサーによる魅惑的なパフォーマンスが繰り広げられていた。林原美術館では、浅利尚民学芸課長がギャラリートーク中。途中から加わって、揚羽蝶の紋が優美な装束や調度品から岡山藩主池田家草創期に思いを巡らせた。

午後4時、漆喰仕上げの広い空間にピアノの美しい音色が響く。ピアニスト松本和将さん(倉敷市出身)のルネスホール公演は、ベートーベン・プログラム。ピアノソナタ4曲を表情豊かに弾ききると、満席の会場から大きな拍手が沸いた。外は、すっかり日が落ちて冷気に包まれていた。でも、心がじんわりと温かい。余韻に浸れる「カルチャー散歩」は、帰路もまた楽しい。

「これまでの広報協力から、学芸員の企画協力へと連携は深まりつつある」。県立博物館総括参事の片山明浩さん(カルチャーゾーン連絡協議会事務局長)は、この1年に手応えを感じている。

「カルチャーゾーンの魅力」展では、各館の学芸員が初めて共同で取り組み、それぞれの名品を自慢し合うトークバトルを繰り広げた。その後、県立美術館とオリエント美術館は「おとなり美術館」と銘打ち、所蔵品1点ずつの交換展示を開始。県立博物館と林原美術館の学芸員2人と一緒に2館を巡るユニークな展示解説や、各施設のボランティアらの合同講座も実現した。片山さんは「いずれ12施設の特長を生かした『岡山の魅力』展といった展示企画や、ボランティア連携に発展していけば」と話す。

岡山市は14年、都心創生まちづくり構想を策定し、

岡山カルチャーゾーンを「各施設を有機的につなぎ回遊できる文化空間」と定義。表町なども含めた城下町エリアのまちづくり、にぎわいの創出に乗り出している。その一環で16年10、11月には、国内外の現代芸術家が集結する。県天神山文化プラザ、林

原美術館などを会場に現代アートの祭典「岡山芸術交流サミットOkayama Art Summit 2016」が初開催される。もっと面白く、もっと魅力的に—31年目の「岡山カルチャーゾーン」の新展開に期待が膨らむ。

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



空から見た岡山カルチャーゾーン。旭川の流れと後楽園の緑も美しい



後楽園ではお正月、鶴が優雅に舞う



今年創立50年を迎える夢二郷土美術館



建築家岡田新一設計の岡山県立美術館



通算300回を超えたSPレコードコンサート(岡山市立オリエント美術館)



ピアニスト松本和将さんの演奏会(ルネスホール)



「山本哲也展」で行われたパフォーマンス(岡山県天神山文化プラザ)



池田家伝来品などのコレクションを研究する浅利学芸課長(林原美術館)

## 第3章 イベントの開催(主催・共催)

### 1 スポーツ

#### ● マルセン子どもスケート教室

- ・日時 平成27年8月17日(月)・18日(火) 各10時～11時20分
  - ・会場 ヘルスピア倉敷アイスアリーナ
  - ・共催 倉敷市スケート協会フィギュア部
  - ・後援 岡山県教育委員会・倉敷市教育委員会・岡山県スケート連盟
  - ・参加者 17日：49名 18日：39名 合計88名
  - ・講師 佐々木 美行先生(倉敷フィギュアスケーティング)クラブ監督  
ゲストスケーター 無良 崇人 日本スケート連盟特別強化選手(所属 洋菓子のヒロタ)
- ①転び方 ②立ち方 ③前や後ろへ進む基本 ④楽しく滑ってみよう



#### ● プロバスケットボール試合 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」(共催)

- ・平成28年3月19日(土)
- 開催：ジップアリーナ岡山(岡山県立体育館)
- 開場：17:00 試合開始：19:00～



### 2 文化

#### ● (公社)岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(名義共催)

- ・平成27年9月17日(木) 天神山文化プラザホール
- 講演：「アート、文学、おかやまー私を育んだ岡山の文化」
- 講師：作家 原田 マハ
- 第1回日本ラブストーリー大賞・第25回山本周五郎賞
- 岡山を舞台にした女子高校生の友情を描いた「でーれーガールズ」が映画化

## 第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ等及び芸術性の高い音楽・演劇等の鑑賞の機会の提供を通じてスポーツ・文化の振興発展に寄与する。

### 1 啓発育成事業

#### ア チケットプレゼント

##### ① スポーツ関係

##### ● 山陽新聞レディースカップ チケットプレゼント

平成27年9月19日(土)～20日(日)  
会場：東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ  
招待者：200組400名 応募：530通

##### ● プロバスケットボール試合「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 チケットプレゼント

平成28年3月19日(土) 会場：岡山市 ジップアリーナ  
招待者：40組80名  
応募：はがき15通 メール25通 計40通

##### ② 文化関係

##### ● フェルメール光の王国展

期日：平成27年4月14日(火)～5月6日(水祝)  
会場：岡山シティミュージアム  
招待者：40組80名 応募：307通

##### ● 再興第100回院展－岡山展

期日：平成28年1月2日(土)～1月17日(日)  
会場：岡山人間文化センター6階  
招待者：100組200名 応募：はがき390通 FAX 68通 計458通

##### ● 倉敷のヴィルトゥオーゾ ピアノクインテット

期日：平成28年3月12日(土)  
会場：倉敷市芸文館ホール  
招待者：50組100名 応募：はがき105通 FAX 21通 計126通

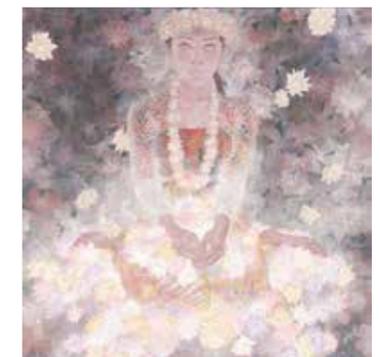
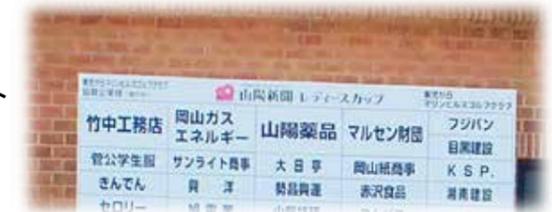
#### イ ホームページを通じての広報

#### ウ 機関誌「マルセン」12号の発刊

#### エ 活動助成団体ラジオ番組への出演

##### ● RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2015」

- ・パーソナリティ：メイン 奥富 亮子アナウンサー・サブ 落語家 桂 小鯛
  - ・「昼からどーだい」(13:00～16:30 放送内)
  - ・期間：平成27年9月28日～12月14日 毎週月曜日 全12回
  - ・出演者：平成27年度 助成団体対象
- スポーツ関係：7団体 文化関係：14団体 計：21団体出演



井手康人「夢覚一如」

## 第4章 広報啓発育成事業

### 2 協賛・後援事業

#### ア スポーツ関係

##### ● 第34回山陽女子ロードレース大会 (協賛)

主催：中国陸上競技協会、岡山県、岡山市、岡山市教育委員会、  
(公財)岡山体育協会、岡山市体育協会、山陽新聞社

主管：(一財)岡山陸上競技協会

期日：平成27年12月23日(水祝)開催

会場：岡山市内 ※2013に続き、今年、世界ハーフマラソン選手権の日本代表選考会

出場者数：ハーフ120名、10km登録103名・一般84名



スタート



#### イ 文化関係

##### ● 岡山カルチャーゾーン30周年記念事業「岡山」カルチャーゾーンの魅力 (協賛)

会場：主会場 岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯

期間：7月16日(水)～9月13日(日)

岡山県立博物館他 入館者数：6,779名 関連行事：約600名

##### ● 岡山県文化連盟設立10周年記念 × 天神山文化プラザ開館10周年記念「オペラ・ファンタジー“ヘンゼルとグレーテル”」 (協賛)

第1回：平成27年10月31日(土)午後6時30分～8時30分 参加者：236人

第2回：平成27年11月1日(日)午後3時～5時 参加者：240人

会場：岡山県天神山文化プラザホール

##### ● 倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール2015 (協賛)

募集：平成27年6月1日～平成27年8月31日

応募数：416点 応募校数：168校

入選52点(うち、20点受賞)

大賞(最優秀賞)〈1点〉アナログ部門優秀賞(1点)

デジタル部門優秀賞(1点)

学長賞〈1点〉ファットウェア特別賞(1点)

アムス特別賞〈2点〉佳作〈13点〉

会場：倉敷市倉敷公民館1F展示室

期間：平成27年12月2日(水)～6日(日)



大賞作品

## (II)財団の活動

### 法人管理

#### 1 会議等

##### ● 評議員会

##### (1)臨時第1回評議員会 平成27年6月9日(火)

①平成27年度収支予算書の書式変更について 承認

##### (2)書面による定時評議員会 平成27年6月24日(水) 同意

①平成26年度事業報告及び収支計算報告について

②理事任期満了に伴う次期理事候補者の選任について

##### (3)書面による臨時第2回評議員会 平成27年7月10日施行 7月15日 同意

①評議員辞任に伴う補欠選任について

##### (4)臨時第3回評議員会 平成28年3月29日(火) 承認

①平成28年度事業計画案について

②平成28年度予算案について

##### ● 理事会

##### (1)書面による第1回臨時理事会 平成27年5月13日施行 5月22日 同意

①臨時評議員会の開催について 平成27年6月9日(火)

##### (2)第1回定時理事会 平成27年6月9日(火)

①平成26年度事業報告及び収支計算報告について 承認

②平成27年度収支予算書の書式変更について 承認

③平成27年度マルセンスポーツ・文化賞候補者について 承認

④任期満了に伴う次期理事候補者の推薦について 承認

⑤顧問の選任について 承認

⑥選考委員の交代について 承認

⑦平成27年度書面による定時評議員会の招集について 承認

##### (3)書面による第2回臨時理事会 平成27年6月9日(火) 6月24日 同意

①理事長の選定について

②常務理事の選定について

##### (4)書面による第3回臨時理事会 平成27年7月3日(金) 7月10日 同意

①評議員辞任に伴う補欠候補者の推薦について

②書面による第2回臨時評議員会の開催について

##### (5)書面による第4回臨時理事会 平成28年2月1日(月)施行 2月9日 同意

①平成27年度臨時評議員会の開催について

##### (6)第2回定時理事会 平成28年3月29日(火)

①平成28年度事業計画案について 承認

②平成28年度収支予算案について 承認

③平成28年度マルセンスポーツ・文化活動助成事業案について 承認

- 監査 平成27年6月4日(木)

● 選考委員会

- (1)表彰・協賛・後援事業 平成27年5月28日(木)
- (2)助成・協賛・後援事業 平成28年3月2日(水)

2 ホームページの管理

- リニューアル 平成23年7月30日
- 新CM更新 平成26年6月4日
- 財団からのお知らせ
  - ・ 財団について
  - ・ 表彰事業について
  - ・ 助成事業について
  - ・ イベント事業について
  - ・ 広報啓発育成事業について
  - ・ メディア／ギャラリー



3 機関誌「マルセン」12号の発刊

- 財団の事業報告等
  - 公益事業
  - 財団の活動

4 ラジオ番組への出演(再掲)

- RSKラジオ 「おかやま元気応援団! 2015」(15:10 ~ 15:20)
- 期間：平成27年9月28日～12月14日 毎週月曜日 全12回
- 出演者：スポーツ関係7団体 文化関係14団体 計21団体の出演

活動助成事業 広報実績のまとめ 記載例 1 スポーツ

第 9号様式

広報用実績のまとめ

平成 27 年度

団体名	神根っ子くらぶ	代表者 松本 初美	北浦 敏行 松本 初美
所在地(市区町村名のみ)	備前市		
活動目的	卓球を通し、児童クラブと地域住民の親睦、心身の健全を図る		
団体の紹介	神根小学校 放課後児童クラブ「神根っ子くらぶ」は、児童の放課後の健全育成、働く保護者支援を目的に平成20年10月に設立。小学校内での活動と合わせ、公民館(紅葉会館)において平日放課後、長期休みに地域の方々とスポーツ・音楽・料理教室などを通し交流を深め“子どもたちの明日の笑顔のため”に日々努力し活動を行っている。		
助成を受けての活動内容	夏休みの一 8月7日 紅葉会館にて神根っ子くらぶと地域の方々との卓球大会が開催された。公民館長 北浦さんをはじめ、神根っ子くらぶ1年～6年の児童12名、中学生ボランティア3名、アルバイト2名 指導員2名、地域の方々8名 計28名。勝ち残り式トーナメントで行われ、小学生と70代女性の戦いでは、勝てると思っていた小学生が負けて悔しい思いをしたり、勝ち上がるたびにサーブが上達し、達成感を大いに感じたりと、熱い戦いが繰り広げられた。		
助成を受けての成果	助成を受け、卓球台が購入できたことにより児童はもちろん地域住民の方々にとっても卓球をする楽しさ、喜び、また体力向上にもつながり、児童クラブの活動、公民館活動も幅が広がり大変有難く思っている。		
今後の活動の課題点	卓球台があるということ、地域住民の方にも知ってもらい卓球の楽しさ、人々との交流の楽しさを呼び掛けていく努力が必要である。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可) 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



活動助成事業 広報実績のまとめ 記載例 2 文化

第 9号様式

広報用実績のまとめ

平成 27 年度

団体名	心のひだ・きびの美術実行委員会
代表者	田部玄
記者	田部玄
所在地(市区町村名のみ)	総社市窪木
活動目的	独自に活動を行っている作家間の交流と歴史ある地域社会との交流を通じて、その水と氷の伊弉諾を具現化することとして、ひいては地域社会の文化の向上と社会奉仕の実現に努めること。
団体の紹介	自然のいとなみ、その微妙な姿・身体内奥世界・心の發...に眼差しを向け、独自の思索・創作活動を続けている。総社ゆかりの作家達によって2014年5月に結成。地域社会に根差した活動を心がける。今回の事業が1弾
助成を受けての活動内容	画聖雪舟ゆかりの古刹宝福禅寺の山門及び方丈・庫裏その他の室内全域を使用して、大規模な美術展覧会を開催した。 総社にゆかりのある8名の作家(浅野有紀、田部玄、榎尾聡美、草間浩雄、甲田夕晴、思玉知己、佐藤陽子、島田清徳)により、「場との共鳴、作家間の共存、見て下さる方々との共振」の実現を通じて「魂の贈与の場」の立ち上げを目指して行われた。 浅野は絹本作品5点、田部は流木による立体6点、榎尾はテキスタイル作品の大作1点と他1点、草間はテキスタイル作品(国際コンパ賞作)1点、甲田は木彫作品2点と他1点、思玉は掛け軸1点と絵画作品大作1点、他3点、佐藤は絵画作品7点、島田は布による立体作品でインスタレーション。 以上8名の作品で禅寺の室内全域を構成した。 特別プログラムとして、5月3日、4日アーサストーク、5月9日中ムラサココンサート、5月10日岸本和朗(奈義町現代美術館長)によるギャラリートークを開催された
助成を受けての成果	総入場者数1998名を得て、おもしろ好評であった。 特別プログラムにも、それぞれ約50余名の参加者があった。
今後の活動の課題点	場との調和という点では、まだまだ改善すべき点がある。日頃の展示場所(近代的な美術館やギャラリー)に慣れたままだと、歴史的建築に対応することの困難さや立ち回りが難しくなるからだろう。歴史的・伝統建築の奥深さに対応できるように今後も精進していきたい。また、今回参加した作家以外にも、総社ゆかりの人材は豊富である。丁寧に掘り起こしていきたい。 問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可) 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



事業の記録

1 助成の記録

●第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
26.8.7	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円	合計 26件	2,497,000円
	文化	130万円	57件	14件	1,378,000円		

●第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
25.10.24	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円	合計 30件	3,000,000円
	文化	100万円	57件	17件	1,700,000円		

●第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
24.8.27	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円	合計 25件	2,670,000円
	文化	100万円	56件	14件	1,400,000円		

美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円

●第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円	合計 21件	2,011,628円
	文化	100万円	46件	11件	1,025,628円		

●第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	合計 22件	2,977,020円
	文化	100万円	43件	13件	1,260,000円		

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

●第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	合計 25件	3,258,115円
	文化	100万円	42件	14件	1,299,000円		

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

●第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	合計 21件	2,996,410円
	文化	100万円	45件	10件	1,000,000円		

県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円

●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合計 21件	1,994,500円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円		

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合計 20件	1,962,000円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円		

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	合計 21件	2,988,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円		

晴れの国おかやま国体 100万円

## 事業の記録

### ●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 20件 2,853,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円	

## 2 表彰の記録

### ●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
26.8.7		特別賞	佐々木 英代	音楽 声楽
	スポーツ	賞	小川 晃平 IPU環太平洋大学女子柔道部 吉備国際大学女子サッカー部 佐々木 美行 野上 竜太	体操競技 新体操 柔道競技 サッカー競技 スケート競技フィギュアの指導 自転車競技
	文化	賞	小出 公大 須本 雅子 藤原 洋次郎 横仙歌舞伎保存会	郷土史 工芸 染織 美術 現代アート 無形民俗文化財 伝統芸能

### ●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香 福元 美穂 宮間 あや 清水 聡 山口 舞	バレーボール競技 サッカー競技 サッカー競技 ボクシング競技 バレーボール競技
	文化	大賞	水戸岡 鋭治	美術デザイン
		賞	上田 久利 岡山パハカンタータ協会 草間 喆雄 鴻八幡宮祭りばやし保存会 難波 由城雄	美術 彫刻 音楽 合唱 美術テキスタイル 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞	佐藤 常子	工芸 染織	

### ●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
24.8.27		特別賞	福元 美穂 宮間 あや 小谷 眞三 森川 星葉	サッカー競技 サッカー競技 美術 工芸 美術 書道
	スポーツ	賞	奥村 諭志 勝又 雅弘 田中 太郎	自転車競技 陸上競技の振興 ウエイトリフティング競技
	文化	賞	池上 わかな 作元 朋子 榎木 和敬 桃太郎少年合唱団	美術 洋画 美術 陶芸 音楽 声楽 音楽 合唱

### ●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平 川口 敬二 興譲館高等学校陸上競技部 永木 伸児 中野 真奈美 藤田 健児	テニス競技 自転車競技の指導 陸上競技 空手道競技 サッカー競技 ボクシング競技
	文化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	澤田 虚遊 宮内踊保存会	美術 書道 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技	

### ●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文化	大賞	井手 康人	美術 日本画
賞		高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画	

### ●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
	文化	大賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の傘踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

### ●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部 県立新見高等学校軟式野球部 福元 美穂 宮間 あや	ソフトボール競技 軟式野球競技 サッカー競技 GK サッカー競技 MF
	文化	大賞	該当者なし	
		賞	井手 康人 小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 日本画 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 美術 書道

### ●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部 岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	ハンドボール競技の指導 サッカー競技 サッカー競技 新体操競技の指導 ウエイトリフティング競技の指導
	文化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

事業の記録

●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	楢村 正明	ソフトテニス競技の指導
			古川 興幸 森政 芳寿	レスリング競技の指導 陸上競技の指導
	文化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアノ 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞	岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルス 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技	

●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水島 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹	ベンチプレス競技
			諸見里 しのぶ 横山 純子	ゴルフ競技 陸上競技の指導
	文化	大賞	小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江	水泳競技(マスターズ)
			藤原 佳市 柳井 清志	体操競技の指導 ソフトボール競技の指導
	文化	大賞	高橋 秀	現代美術
		賞	粟井春日歌舞伎保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			岡山フィルハーモニック管弦楽団	音楽 管弦楽
			松本 和将	音楽 ピアノ

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
26	スポーツ	第10回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会(協賛)	26.4.13	—	—	1万円
		第30回全国選抜フットサル大会(協賛)	26.9.13~15	—	—	10万円
		マルセンバスケットボール教室(共催)(主管 県中学生バスケット連盟)	26.9.15	—	42	24万円
		山陽レディースカップ チケットプレゼント	26.9.20~21	278	190	現物寄贈
		プロバスケットボール試合「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」(共催)及びチケットプレゼント	26.11.2	—	—	37.8万円
	文化	第33回山陽女子ロードレース大会(協賛)	26.11.16	—	—	108万円
		第10回沙美アートフェスタ(協賛)	26.5.10	—	—	10万円
		親子で学ぶてんまや水族館「オーストラリアの海とグレートバリアリーフの世界」チケットプレゼント	26.8.6~25	188	50組 100名	—
		岡山県文化連盟「文化のつどい」(共催)	26.8.7	—	—	15万円
		マルセン親子写真教室(主催)	26.9.27	10組	10組 22名	8.8万円
		池田綱政公300年遠忌 特別展 護国山曹源寺~岡山藩主池田家菩提寺の至宝と文化~(協賛)	26.10.10~11.16	—	—	30万円
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2014(協賛)	26.11.26~30	—	—	10万円
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第46回定期演奏会チケットプレゼント	27.1.24	250通	20組 40名	19万円
		倉敷ダニエル・オストの花と心 —西洋と日本の架橋—(協賛) 同上 チケットプレゼント	27.3.1~4	—	—	名義 現物寄贈
		トーベメヤソン生誕100年記念「ムーミン展」チケットプレゼント	27.3.20~4.19	779通	150組 300名	現物寄贈
25	スポーツ	第63回全日本実業柔道団体対抗大会(協賛)	25.6.15~16	—	—	10万円
		第36回岡山県道場少年剣道大会(後援)	25.6.22	—	—	名義
		山陽レディースカップ チケットプレゼント	25.9.21~22	258通	145名	現物寄贈
		プロバスケットボール試合「高松ファイブアローズ対島根サノオマジック」(共催) チケットプレゼント	25.10.27	43通	20名	35万円
		「第32回山陽女子ロードレース大会」(協賛) 岡山市内	25.12.23	—	—	105万円
	文化	成通グループ・(公財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室(マスカット球場)	26.3.2	—	96名	—
		東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦(マスカット球場)	26.3.4/3.5/3.7/3.8/3.9	1,202通	50名	現物寄贈
		「第9回沙美アートフェスタ」(協賛)	25.5.11	—	—	10万円
		大野雄二&ルパンティック・ファイブ チケットプレゼント	25.5.17	265通	25組 50名	17.5万円
		The Wave Quartet マリンバ・リサイタル/マスタークラス(協賛)	25.7.17	—	—	10万円
24	スポーツ	岡山県文化連盟「文化のつどい」(共催)	25.7.20/9.19	—	—	39万円
		創立10周年記念「表彰者色紙展/自然と遊ぶ・写真展」(主催)	25.8.13~8.18	—	—	88.3万円
		「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」書籍プレゼント	—	179通	28名	現物寄贈
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2013(協賛)	25.10.6~7	—	—	10万円
		如月 水墨画展(後援)	25.10.1~10	—	—	名義
23	スポーツ	みんなて学ぶ「ふるさと美作のあゆみ」書籍プレゼント	—	71通	10名	1.5万円
		「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 チケットプレゼント	26.2.21~4.6	336通	150組 300名	現物寄贈
		山陽レディースカップ チケットプレゼント	24.9.15~16	153通	120枚	20万円
		第2回航空フェア2012(協賛) フライトシュミレーターによる少年航空教室	24.11.11	106	106名	42万円
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室(マスカット球場)	24.11.11	29チーム	200名	—
	文化	「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) 岡山市内	24.12.23	—	—	105万円
		女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 チケットプレゼント	25.2.9、10 3.2~3	515	80名	28万円
		第61回備前市えびす駅伝競走大会(協賛)	25.2.11	—	—	5万円
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室(マスカット球場)	25.3.3	4チーム	95名	—
		「第8回沙美アートフェスタ」(協賛)	25.5.12	50点	50	10万円
23	スポーツ	(成通グループ提供) マルク・ジャガール展 チケットプレゼント	24.7.13~8.26	479通	204名	—
		前橋汀子ヴァイオリンリサイタル チケットプレゼント	24.10.5	275通	50名	17.5万円
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2012(協賛)	24.10.6~28	300点	100点	10万円
		岡山県文化連盟「文化のつどい」	24.10.6 24.11.17	—	—	30万円
		マーチング・イン・オカヤマ(協賛)	24.10.7~8	—	—	4万円
23	スポーツ	人形浄瑠璃「文楽」 チケットプレゼント	25.3.9 昼・夜の部	174通	20名	8万円
		「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	23.12.23	—	—	105万円
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室(成通グループ提供) プロ野球オープン戦チケットプレゼント	24.3.4 24.3.10 24.3.11	— 305 581	88名 46 46	— — —

事業の記録

平成26年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
23	文化	「第7回沙美アートフェスタ」(協賛)	23.5.14	—	—	10万円
		岡山県文化連盟「文化のつどい」	23.8.22、8.24	—	—	30万円
		「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」 会場 岡山シンフォニーホール	23.11.3	2,326	1,700名	217.8万円
		岡山県民俗芸能大会(協賛)	23.11.19～20	—	—	10万円
22	スポーツ	「男子第49回女子第40回西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛)	22.7.10～14	—	—	2万円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催	22.8.5	—	92名	28.8万円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛)	22.12.23	—	—	105万円
		女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 チケットプレゼント	23.3.13	410	100名	25万円
21	文化	「第6回沙美アートフェスタ」(協賛)	22.5.15	—	—	10万円
		岡山県文化連盟「文化のつどい」	22.8.25、8.28、9.1	—	—	47万円
		「川島 基ピアノリサイタル」チケットプレゼント	22.9.26	—	30名	10.5万円
		「モネとジヴェルニーの画家たち」チケットプレゼント	23.2.25～4.10	527	300名	4.5万円
20	スポーツ	アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」チケットプレゼント (成通グループ提供)	23.3.19	35	40名	—
		「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛)	21.8.7～9	—	—	2万円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛)	21.8.22～23	—	—	10万円
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛)	21.9.25～27	—	—	10万円
20	文化	「マルセン少年バレーボール教室」山陽ふれあい体育館	21.10.18	—	85名	37万円
		「第28回山陽女子ロードレース」(協賛)	21.12.23	—	—	105万円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛)	21.5.16	—	—	10万円
		「朝鮮王朝の絵画と日本」チケットプレゼント	21.6.5～7.12	187通	200名	16.6万円
19	スポーツ	絵はかき(写真コンテスト入賞作品)プレゼント	21.7.25～29募集	206通	150名	15.2万円
		論文募集	21.9.1～10.31募集	25点	7点	25.4万円
		岡山県文化連盟「文化のつどい」	21.9.5/9.12	—	—	35万円
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11～12	—	—	10万円
19	文化	「NHK文化センター」アンデルセン in ホテルオークラ岡山(協賛)	22.2.21	—	—	5万円
		「悠久への回帰 高橋秀展」チケットプレゼント	22.3.5～4.4	178	100名	8.4万円
		「第31回岡山県少年剣道練成大会」(協賛)	20.6.7	—	—	10万円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」(協賛)	20.8.23～24	—	—	10万円
18	スポーツ	「第27回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	20.12.23	—	—	105万円
		「マルセン少年陸上競技教室」開催	21.3.8	—	255名	32万円
		「第24回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛)	21.3.26～28	—	—	10万円
		「第25回全国高等学校体操選抜大会」(協賛)	21.3.28～29	—	—	10万円
18	文化	「第4回沙美アートフェスタ」(協賛)	20.5.10	—	—	10万円
		「おかやま国際音楽祭2008」チケットプレゼント(成通グループ提供)	20.10.4	444通	100名	—
		「岡山学びフェスタ2008」「マルセンバルーンアート教室」の開催	20.11.9	—	220名	7.4万円
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛)	20.11.8	—	—	10万円
17	スポーツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛)	20.11.30/12.21	—	—	35万円
		「マルセン写真コンテスト及び写真展」の開催	21.2.25～3.2	270点	36点	30万円
		「第30回岡山県少年剣道練成大会」(協賛)	19.6.9	—	—	10万円
		「第26回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	105万円
17	文化	「第56回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	10万円
		「マルセン少年サッカー教室」開催～湯郷 Belle の選手を招いて～ 岡山ドーム	20.3.8	—	207名	43万円
		「第3回沙美アートフェスタ」(協賛)	19.5.12	—	—	10万円
		「暮らしきウィーク 2007 in Kansas City」(協賛)	19.7.25～8.1	—	—	10万円
16	スポーツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛)「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9・15・23	—	—	35万円
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」「生涯学習見本市」へ出展 桃太郎アリーナ	19.11.2～6	—	—	48万円
		「第25回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	18.12.23	—	—	105万円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	19.2.11	—	—	10万円
16	文化	「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛)	—	—	—	10万円
		「第2回沙美アートフェスタ」(協賛)	18.5.13	—	—	10万円
		「川島 基ピアノリサイタル」開催	18.11.3	431通	200名	約40万円
		コミュニティーライブラリーの開設	18.8.4～19.2.16	—	—	—
16	スポーツ	岡山桃太郎アリーナ落成記念「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	21万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	10万円
		松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタペ」チケットプレゼント (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	30万円
16	文化	岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」チケットプレゼント	17.10.21～12.18	452件	100名	9万円
		「あそべる!おもちゃ展」(岡山デジタルミュージアム)	18.2.17～22	—	—	10万円
16	スポーツ	「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	105万円
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 チケットプレゼント	17.3.11	710件	100名	36万円

(単位:円)

科目	予算	平成26年度	増減
* 一般正味財産増減のみ			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	40,000	25,000	15,000
定期預金利息	40,000	25,000	15,000
受取寄付金	20,294,263	20,000,000	294,263
受取寄付金	20,294,263	20,000,000	294,263
雑収益	0	1,953	△1,953
受取利息	0	1,853	△1,853
雑収入	0	100	△100
<b>経常収益計</b>	<b>20,334,263</b>	<b>20,026,953</b>	<b>307,310</b>
(2) 経常費用			
事業費	18,570,000	17,529,482	1,040,518
役員報酬	0	22,272	△22,272
給料手当	2,700,000	2,536,560	163,440
法定福利費	90,000	89,454	546
広告宣伝費	0	0	0
荷造運賃	145,000	184,053	△39,053
賃借料	497,000	335,480	161,520
諸会費	0	0	0
交際接待費	100,000	172,342	△72,342
旅費交通費	163,000	102,089	60,911
通信費	235,000	198,261	36,739
消耗品費	790,000	314,119	475,881
租税公課	0	0	0
減価償却費	0	0	0
地代・家賃	2,700,000	2,916,000	△216,000
保険料	0	7,425	△7,425
修繕費	90,000	0	90,000
助成金	2,500,000	2,497,000	3,000
褒賞金	3,800,000	3,000,000	800,000
諸謝金(イベント事業費)	700,000	829,253	△129,253
資料収集費(広報啓発事業費)	100,000	203,530	△103,530
印刷費	400,000	690,660	△290,660
後援費	1,500,000	1,690,000	△190,000
雑費	2,060,000	1,740,984	319,016
管理費	1,764,263	964,074	800,189
役員報酬	304,263	183,744	120,519
給料手当	300,000	281,840	18,160
法定福利費	10,000	9,939	61
退職金	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0
荷造運賃	5,000	2,161	2,839
事業引当金	0	0	0
賃借料	93,000	0	93,000
諸会費	10,000	10,000	0
交際接待費	100,000	31,518	68,482
旅費交通費	37,000	35,203	1,797
通信費	65,000	20,433	44,567
消耗品費	10,000	538	9,462
租税公課	0	0	0
減価償却費	0	0	0
地代・家賃	300,000	324,000	△24,000
修繕費	10,000	0	10,000
諸謝金	0	0	0
印刷費	0	0	0
雑費	520,000	64,698	455,302
<b>経常費用計</b>	<b>20,334,263</b>	<b>18,493,556</b>	<b>1,840,707</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>1,533,397</b>	<b>△1,533,397</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
<b>正味財産期首残高</b>	<b>692,145</b>	<b>692,145</b>	<b>0</b>
<b>正味財産期末残高</b>	<b>692,145</b>	<b>2,225,542</b>	<b>△1,533,397</b>

## 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流 動 資 産			
現金及び預金	2,940,067	1,854,842	1,085,225
未収金	97,995	97,995	0
未収消費税	0	0	0
前払費用	27,000	27,000	0
貯蔵品	6,131	3,200	2,931
流動資産合計	3,071,193	1,983,037	1,088,156
2 固 定 資 産			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	103,071,193	101,983,037	1,088,156
<b>II 負債の部</b>			
1 流 動 負 債			
未払金	828,513	1,167,076	△ 338,563
預り金	17,138	10,816	6,322
未払消費税等	0	42,000	△ 42,000
未払法人税等	0	71,000	△ 71,000
流動負債合計	845,651	1,290,892	△ 445,241
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	845,651	1,290,892	△ 445,241
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
その他一般正味財産	2,225,542	692,145	1,533,397
一般正味財産合計	2,225,542	692,145	1,533,397
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	102,225,542	100,692,145	1,533,397
負債及び正味財産合計	103,071,193	101,983,037	1,088,156